

○1番 馬場椿君

延永小学校6年、馬場椿です。まず、学校のエレベーターの設置について質問します。

これからの行橋市の小学校の発展を考えたときに、小学校にエレベーターを設置したほうが良いと考えました。その理由としては、転校して来る前の学校にも設置されていたことと、骨折している友達や、手や足をけがをした友達を見かけると不便そうですし、転落の危険もあるからです。

転校する前の学校の友達で骨折をした人がいましたが、エレベーターがあったため、不便なく生活できていました。この件について、どう考えますか。

○議長 亀田ふみ君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

では、馬場議員の御質問にお答えしたいと思います。今まで学校の建物については、皆さんが快適に過ごすことができるように、教室への冷暖房の設置ですとかトイレの洋式化などに取り組んでまいりました。校舎については古くなってきていますので、現在は危険な箇所や授業を行う上で必要な所を優先して、改修工事を実施しているところでございます。

議員が、エレベーターが必要だと言われていることについては、大変重要な御提案でありますし、やはり病気やけがなどによって移動が困難な方も安全に学校生活を送れるようにエレベーターを設置することは、これからの学校を建設するうえでは必要な検討課題であると思っております。

しかしながら、今ある校舎にエレベーターを設置することは、大規模な工事となりますので、費用面や使用頻度など、いろいろなことを考えて総合的に判断する必要があるのではないかと考えております。

では、エレベーターが設置できない場合の代替案についてですが、足などをけがをして移動が難しい児童がいた場合は、まずは学校の先生にお願いをして、回復するまでは教室間の移動をサポートしていただくということをしてしたいと思います。また状況にもよりますが、緊急的な対応として段差をなくしたり、手すりをつけたりといった、すぐにできる工事も考えていきたいと思っております。

また、教室の階数の変更までは難しいかもしれませんが、どうしても上の階に上がらなければならないことも想定できるかと思うんですが、そのときは、今は授業にタブレットを活用していると思っておりますので、1階に席を設けてオンラインで配信しながら授業を実施することができないかなということ、できる限りの対応をいろいろ模索して考えていきたいと思っております。以上です。

○議長 亀田ふみ君

馬場議員。

○1番 馬場椿君

ありがとうございました。

次の質問に移ります。次に、学校の床について質問します。学校が古いため、教室の床がめくれている所があります。直してもらうには、どうすればいいですか。

○議長 亀田ふみ君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

床のめくれている所があるという御質問、ありがとうございます。学校の建物の修理は、生徒の皆さんに危険が及ぶような状態の場合は、早急に対応するようにしているところでございますが、それ以外にめくれている、危ないという所は、もちろんすぐにやりますけれども、そういった場合は、きちんと先生に報告していただければと思います。

議員要望の教室の床の修理の所については、きちんと現地を確認いたしまして、早急に対応する方向で進めたいと思っています。以上です。

○議長 亀田ふみ君

馬場議員。

○1番 馬場椿君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。